

平成29年度女性活躍推進認証企業

〈女性活躍推進企業7社を認証しました〉

平成30年2月14日にいわき芸術文化交流館アリオスで開催された「いわき人財育成企業アワード2018」において、女性の登用・育成及びワーク・ライフ・バランスの推進等、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取り組みを行う企業7社が、平成29年度の「いわき市女性活躍推進認証企業」として認証されました。



【平成29年度 認証企業一覧】7社

1	いわき信用組合
2	クリナップキャリアサービス株式会社
3	フタバコンサルタント株式会社
4	パイオニア設計株式会社
5	堀江工業株式会社
6	株式会社いわきテレワークセンター
7	株式会社福島インフォメーション リサーチ&マネジメント

女性活躍推進企業認証制度とは？

○概要

いわき市では、「いわき市女性活躍推進企業認証制度」を平成28年9月に創設しました。この制度は「あらゆる分野において女性がその個性と能力を十分に発揮することは、地域社会を活性化させる大きな力になる」という考えのもと、職場における男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組み、働きやすい職場環境の整備を図っている企業を認証するものです。認証期間は、認証年度を含め3年度となります。

【平成29年度認証企業の認証期間は、平成31年度まで（平成32年3月31日まで）】

○認証の要件

- ・常用雇用従業員数が300人以下のいわき市内に本社・支社等を有する事業所、公益法人及び個人事業主
- ・関係法令遵守のための就業規則の整備【必須】
- ・次の項目から複数の取組みがあること
 - ▶ 育児・介護休業法の規定の内容を上回る制度が整備されていること
 - ▶ 女性の活躍推進に関する取組みがあること
 - ▶ 仕事と家庭の両立支援に関する取組みがあること
- ・指定する講座の受講 など

○インセンティブ

- ・認証書、認証プレートの交付
- ・市広報紙や公式ホームページ、男女共同参画情報紙「Wing」での認証企業の紹介
- ・社用車への認証企業である旨の掲示 等

【平成28年度 認証企業一覧】19社

1	日栄地質測量設計株式会社	8	林興業株式会社	15	株式会社中山組
2	株式会社アカデミー	9	福進工業株式会社	16	株式会社福島スイケンエンジニアリング
3	常磐開発株式会社	10	株式会社みちのくNテックス	17	オレンジ株式会社
4	地質基礎工業株式会社	11	渡辺エコサービス株式会社	18	株式会社東日本建設コンサルタント
5	株式会社常磐エンジニアリング	12	株式会社荻野組	19	株式会社渡辺組
6	社会福祉法人育英会みそら保育園	13	株式会社かねまん本舗		
7	福浜大一建設株式会社	14	株式会社東コンサルタント		



女性活躍推進ポータルサイト

開設：平成30年1月16日（火）

「女性活躍」や「ワーク・ライフ・バランス」の推進等を図るため、女性活躍推進に関するポータルサイトを開設しました。

<http://www.city.iwaki.lg.jp/josei-katsuyaku-suishin.html>

〈主な掲載内容〉

- 女性活躍推進に関する情報
- 女性活躍推進認証企業の紹介（各企業HPへリンク有）
- ワーク・ライフ・バランスとイクボスに関する情報
- イクボス宣言企業の紹介（各企業のHPへリンク有）
- 市内で活躍する女性の紹介
- 男女共同参画女性人材リストについて
- 男女共同参画推進団体の紹介 等

〈特徴〉

1. 女性活躍の推進を本市で広く浸透させるため、女性が能力を十分に発揮することができる環境の整備を促進している女性活躍推進認証企業を紹介しています。
2. 女性活躍の推進に繋がる取り組みとしてワーク・ライフ・バランスやイクボス宣言が効果的であることから、それらを実践しているイクボス宣言企業の紹介及び市内の企業や団体等で活躍している女性を紹介しています。
3. 女性活躍推進に関する国・県・市の制度や子育て・雇用に関する情報などを容易に入手できるよう各関係機関等への多数のリンク先を設けています。



女性活躍応援セミナー

開催日：平成30年1月27日（土）
場 所：いわき市文化センター

ワークショップ「なりたい自分になりましょう！」

医師 海原 純子（うみはら じゅんこ）さん

海原さんの進行のもと、女性がいきいきと活躍できる社会について、ワークショップ形式の講演会を開催しました。お茶などを飲みながら、「カフェ」にいるようなリラックスした雰囲気、テーマに基づいた話し合いをしました。

まず講演として、海原さんは「なりたい自分」を見つけていない人のサインや、自分らしさを抑えることによる心身の不調の例をあげました。人生において「自分がどうありたいか」が大事で、自分らしさを周囲にうまく表現する必要があると話しました。

次に、参加者同士が2人1組になって、海原さんの指示に従って絵を描くワークを行いました。描いた絵をお互いに見せ合うと、同じ指示でも描いた絵は異なっていました。つまり、同じ言葉を聞いても、受け取る人の理解は1人ずつ違うので、人と人とはずれ違って当たり前だと再認識しました。海原さんは人と対応する時には「相手の指示を詳しく聞く」「自分が話す時も相手が理解できるように正確に話す」ことが大切だと話しました。また、わざと目を合わせずに話を聞くというワークでは、話している側は顔を見ていないと不安を感じ、目を合わせて会話することで人は安心したり和んだりするということを体験し、言葉以外のコミュニケーションの大切さを学びました。

